



東地中海地域ニュース

エジプト：ナイル川流域イニシアティブ第17回閣僚会議の開催

(7月23-29日 現地各紙)

7月27日から28日にアレキサンドリア市で開催されたナイル川流域イニシアティブ第17回閣僚会議について、現地各紙が報じた。その概要は以下の通りである。

1. 閣僚級会議準備の動き

- (1) 23日、第17回閣僚会議開催に先立ち、アッラーム水資源・灌漑相の要請を受け、ナイル川流域のためのエジプト・スーダン共同常任技術委員会は、ナイル川水問題に対しての両国の立場の調整、見解の統一のため、特別会合を開いた。
- (2) 25日、枠組み条約、ナイル川流域イニシアティブに関する重要な問題に対しての統一の立場をとるため、エジプト、スーダン、エチオピアの水資源・灌漑相による特別閣僚級会議が開かれた。

2. 第17回閣僚級会議

- (1) 27日からの本会議に先立ち、アスファウ・デンジャムワ・エチオピア水資源・灌漑相は、「我々はエジプト・スーダンの利益を害せず、ナイル川の全ての国を含む包括的な協定のために努力するが、現在の協定は二国間協定にすぎず、二国間協定は枠組み条約とはなり得ない」と述べた。他方、デイヴィッド・グレイ世界銀行代表は、いかなる他国の利益も害することのない限り、世界銀行はナイル川流域の全ての国の水計画に資金援助する、と述べた。
- (2) 28日の会議後、アッラーム水資源・灌漑相は、参加したナイル川流域国の各水資源・灌漑大臣らが、ナイル川流域イニシアティブの対立点、特にエジプトが主張する3点(水安全保障、水計画採択におけるエジプト・スーダンによる事前の合意、ナイル川におけるエジプト・スーダンの歴史的権利)を解決するため、6ヵ月間交渉・議論を続けることに合意した、と述べた。
- (3) マグディー・ラーディー首相府報道官は、今回の会議では最終的結論に達しなかったが、参加者たちは、本会議がナイル川流域イニシアティブについての合意に至る大きな肯定的な一歩となることを強調した、と述べた。
- (4) ラーディー首相府報道官によれば、28日の閣僚級会議閉会会合に出席したナズィーフ首相は、エジプトが流域国に両腕を広げており、アフリカでの発展のための計画を有しているとして、ナイル川流域国が水源運営に関する問題についての交渉において機微な部運を乗り越えることの重要性を指摘した。
- (5) ラーディー首相府報道官によれば、ナズィーフ首相は参加大臣らに、水源の運営に関する狭い視野のイニシアティブから抜け出し、流域国の包括的な発展の実現、農業・灌漑・人間発展における天然資源の利用、エジプトと他国との貿易の増加、発展の様々な分野でのエジプト投資機会の増加などを含むより広い新エジプト・イニシアティブを提案し、各国の参加大臣らはこれを歓迎した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799